

くるみ便り

今年も切戸川の桜がきれいに咲いてくれました。お花見をして楽しんで方も多いのではないのでしょうか😊そんな桜の木も緑の葉が目立つようになり、夏の訪れを感じる季節となりました。新生活にも慣れてきてダラダラしてしまうこの時期・・・新しい趣味でも見つけて、気持ちをリフレッシュさせるのもいいかもしれませんね♪

5月号

Q & A ~薬剤師さんに聞きたい!~

Q. 授乳中に私が風邪をひいてしまいました。薬は飲まないほうがいいですか?

A. お母さんが飲まれたほとんどのお薬は、母乳の中に分泌されます。それでも、実際には母乳を飲ませても、赤ちゃんに影響のないお薬がほとんどです。かぜ薬や一般的な抗生物質は、母乳を飲ませても赤ちゃんに問題になることはありません。ごく一部母乳を中止しなければいけないお薬もあります。一般的な薬はほとんど問題ありませんが、心配な時は薬剤師に相談することをお勧めします。

今年は5月14日が母の日

母の日は、日頃の母の苦勞を労り、母への感謝を表す日です。

母の日っていつから始まったの?

今から100年以上前、ある女性が、亡くなった母の追悼式で白いカーネーションを配ったことが始まりでこれが「母の日」の起源と言われています。現在では赤いカーネーションを母に贈るのが主流になっています。いくつになっても母の日のイベントを大切にしたいですね😊❤



ジェネリック医薬品ってなんだろう?

薬局に行くと聞かれるのがジェネリック医薬品の希望。薬局の人が勧めるのなら、、、値段が安いのなら、、、ってよく分からないまま希望している方が多いのではないのでしょうか。今回はジェネリック医薬品を分かりやすくご紹介!

どうして安いのか?



新しくお薬を開発するにはたくさんの時間とお金がかかります。新薬を開発するのに約9~17年かかり、それに比べてジェネリック医薬品は3~5年と短いのです。開発期間が短い分、開発にかかるコストも大幅に抑えているため値段が安いのです。

先発品と効果は同じ?



ジェネリック医薬品は先発医薬品と同じ効き目が安全性を確認するために、たくさんの厳しい試験をクリアしないと発売することができません。新薬と同等で安心して飲めるお薬です。

同じでなければいけないところ

- 有効成分の種類・量
- 用法・用量
- 効能・効果

変えてもいいところ

- お薬の形状
- 色、味、添加物

確かな品質を低価格で提供できるジェネリック医薬品は患者さんの負担を軽減し、医療費抑制にも貢献しています🌟

くるみ薬局のホームページはこちらからどうぞ😊



裏面もあるよ♪